

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1313
施設名	杉並の家さくら保育園
施設所在地	杉並区成田東4-9-19
法人名	社会福祉法人けいわ会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

保育園の園庭は、子ども達が大好きな場所です。花・虫・土・空・空気が毎日の園生活で身近に感じられる場所でもあります。身近な園庭探検をきっかけとし、栽培を通して変化の様子から、子ども達の心が動く瞬間やワクワクする姿を見つめたいと考えます。園内外の場所での自然を探索して子ども達の興味関心の世界が広がってくれることも願って設定しました

2. 活動スケジュール

- ①園庭探索
- ②近隣緑地探索
- ③園外活動
- ④野菜・果物・花の栽培と観察 と収穫

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

・ルーペ・タブレット・ペン・テープ・画用紙・図鑑・記録用Ipad・バス

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・野菜栽培 収穫と実食 (・ピーマン なす とうもろこし きゅうり さつまいも みかん)
- ・生態観察 (あり だんご虫)
- ・飼育 (ヤゴ カブトムシ) ・テラスでの月観察
- ・近隣緑地探索 (自作のバックに自然物を入れて観察) (持ち帰って図鑑で調べる)
- (ルーペに石や幼虫など子ども達が気になる自然物を入れて観察) ・虫とりあみ作り
- ・ゲーム作り お散歩ビンゴ ・自然物を使って (おままごとクリスマスリース作り)

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)・散歩先でありを捕まえてハウスに入ると巣ができる様子や餌を運ぶ様子を観察する。子ども達から「おやつのは蒸パンは食べるかな?」「砂糖をあげるといいよ」「きなこの方が好きだったんだね」と相談していた。何を食べるかを調べて園庭で湿った枯葉を探し「ごはんだよ」と話しかけていた。・ギンヤンマの幼虫(ヤゴ)の飼育。生きていた赤虫を割りばしで与えると「口から何か出てきた!」「僕の箸から食べた!」と興味深く観察した。図鑑を用意すると興味をもって見ている。成虫になり逃がす際には「元気だね」「頑張ってるね」と見送る姿があった。成虫になる過程で死んでしまったケースでは、不思議がる気持ちと「餌がたりなかったかな」と考えていた。・ビンゴ作りなど新しい遊びにもつながった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・身近に感じているアリやだんご虫を飼育し毎日観察しながら疑問に思ったことや気付いたことを図鑑で調べ友達や保育者と共有した。
- ・じっくり観察する中、発見すると「みんな見て」と興味関心を広げていた。トンボのヤゴは初めて見る子どもも多くエサやり等普段できない経験をし生態を知ることによって虫や草花に興味が増えた。
- ・保育者も一緒に子どもの目線を遠く自然との触れ合いが充実した。
- ・飼育を通して、虫にも食べたり排泄したりと生活があることを感じている様子だった。
- ・保育者も一緒に調べたり観察することで知識が増え、子どものつぶやきからの気づきをえられた。